

# 連帯

学校事務職員労働組合神奈川 (がくろう神奈川)

横浜市港北区篠原台町36-28-602

TEL/FAX 045-434-2114 http://gakurou.gjpw.net/

No.267

2016.6.13

## 早くも頓挫模様の「チーム学校」

### 「チーム学校」を葬り去ろう！

学校事務の世界でこの数年、「チーム学校」という施策が細々とながら話題になっていきます。中には事務職員の将来を指し示すものと信じ、あるいは新しく輝かしい未来を開くものと期待する声も聞かれます。果たしてそうなのでしょいか？

#### 「チーム学校」とは

「チーム学校」は一昨年来議論されてきた施策で、教員以外に心理や福祉等の専門スタッフを学校に配置し、様々な業務を連携・分担してチームとして職務を担おうというものです。この議論の中で学校事務職員についても、学校運営に関わる専門職員と位置づけるとともに、標準的な職務内容を国が示すことなどが検討されています。

中央教育審議会の作業部会で14年秋以降検討が進められ、昨年12月に答申が出されました。

#### チーム学校の本質

「チーム」と言われると「チームワーク」「協力」といった印象を持ちますが、チーム学校の本

質はそんな牧歌的なものではないです。

答申では、各種専門スタッフをチームにまとめるため学校マネジメント機能を強め、これまで以上に校長がリーダーシップを発揮する体制をつくること、強調されています。チーム学校の本質は、上意下達式の学校管理・職員管理強化の新しい論法に他なりません。

#### 事務職員の役割とは…

そんなチーム学校答申で、事務職員はまさにこのマネジメント機能強化の文脈から「専門性等も生かしつつ(略)副校長・教頭とともに校長を学校経営面から補佐する学校運営チームの一員」との「期待」をかけられています。この「期待」

を嬉しがるかどうかは人それぞれですが、具体的にはどうなのでしょう。

答申ではまず、副校長・教頭がよりリーダーシップを発揮していくためとして「教頭と事務職員の分担の見直し」が謳われています。さらに別項では、教員や副校長・教頭の事務業務が負担となつていくとして「副校長・教頭や教員が行つて

いる管理的業務や事務的業務に関して事務職員が更に役割を担う」とことなどを謳っています。

なんのことはありませぬ。やれ専門職だ、学校運営チームの一員だと持ち上げて、その中身は単に副校長・教頭や教員の負担を引き受ける役割でしかないのです。事務職員からすれば単なる業務増大に他なりません。

#### 破綻施策の焼き直し

答申では他に、事務長の設置や研修の充実、事務の共同実施推進なども

打ち出しています。しかし、いずれも中身は全くと言っていいほど練られておらず、取つて付けたような一般論や従来の見解の使い回しに過ぎません。

何よりこれらは、今までも十数年間提唱され続け、そして結局は様々な問題があるがゆえに全国的には定着しなかつた、「破綻した施策」です。

チーム学校という新しい衣をまとつても、中身は昔の失敗作の焼き直しに過ぎません。

#### 頓挫模様の「チーム学校」

議論当初は多くの一般メディアも報じ、論じたチーム学校ですが、いまや耳にすることはほとんどありません。それも当然、最大の目玉であった専門スタッフの配置は議論の過程で後退し、答申では単なる検討事項にとどまりました。目玉がポシャつたのです。

チーム学校は早くも頓挫しつつあります。業務増大のチーム学校をこのまま葬り去りましょう！

## 4万人で国会包囲！

「明日を決めるのは私たち—政治を変えよう！」

6・5全国総がかり大行動」に参加

#### 現実となった《夢》

2年前の6月、閣議決定を目前にした集団的自衛権反対集会で、市民運動家の高田健さんが訴えた。「私たちに大きな夢がある。大きな共同行動を作り上げ何万人もで国会を包囲し戦争への途を食い止めること」と。

昨年、横浜臨港パークで開催された5・3憲法集会は、それまで別個に運動してきた諸団体が結集する3万7千人の画期的な大集会となった。そして8月30日の12万人を頂点に何波もの国会包囲行動が繰り広げられ、強行「採決」後も勢いは衰えることがない。今年の有明公園での5・3集会は5万人もの参加。参院選に向けて「野党は共闘」の声が高まり、遂に32の一人区すべてで野党の候補一本化が実現した。ちよつと前までは想像もできなかったこと。《夢》は私たちの期待をはるかに超える現実と化したのだ。

#### 参院選勝利へ

6月22日の参院選公示を前にした5日の行動は、こうした運動の成果を確認し、さらに前進させるためのもの。国会周辺に4万人の参加者が詰めかけた。次々に登壇する方々は口々に、なんと

#### 6・19大行動へ

折しも沖繩では県議選の投票が行われ、翁長知事与党が勝利した。元海兵隊員による女性殺害事件に抗議する現地集会に呼応して、6月19日に再度国会周辺で大集會が行われる。午後2時から。是非結集を！

# 政令市移管—名古屋では

## 移管に便乗した仕事の押し付けは許さんぞー

政令市移管問題—神奈川県以外他市の状況はどうか？愛知県学校事務労働組合（愛学労）の仲間に名古屋の状況を聞いた。名古屋では、職としての学校事務は維持されたものの、「職の専門性」を理由に業務内容の拡大（業務の押し付け）が行われようとしている。一方、給与格付けは未だ明確になっていない。

### ■学校事務存続のキーワードは「職務の専門性」

人口229万人、横浜、大阪に次ぐ元祖政令市の名古屋市。政令市移管にあたって市教委は、「学校事務職の存続には、一般事務の職務と異なり、『学校事務職員の職務の専門性』が必要」として、専門性を担保するために①学校における金銭等を管理する②学校運営等に参画する、の2点を条件として挙げた。

具体的には、「事務職員の専門性を発揮」するために、学校基本調査、教科用図書給与関係事務、学校徴収金事務（給食会計事務）、その他会計事務（補助教材、修学旅行費等）、就学援助・教育扶助に関する事務、特別支援教育就学奨励費に関する事務（合計6項目）

があげられ、学校事務職員の主担当とすることとされた。

ただ「主担当の定義、教員と事務職員の協働の方法は今年度検討」となっており現段階確定ではないのだが。また学校運営等への参画として、「学校事務職員の9割以上が主担当又は副担当をしており、かつ、3分の2以上の学校事務職員が主担当としている職務」（14項目）については、学校規模等に関わらずすべての学校事務職員を主担当とする。

### ■「専門性」の発揮場所は教員の多忙化解消！

業務拡大の根拠として、昨年7月に市教委が行った学校の職務内容に関する調査結果が使われたが、それを見ると市教委の意図が透けて見える。「学校運営参画」業務として

挙げられた14項目は、給与、旅費、福利厚生、物品、予算・決算といった項目で、学校事務職員であればほとんどが担当している業務であり、ことさら取り上げるまでもないものだ。

### 問題は、「専門性発揮」業務として挙げられた6項目だ。

調査結果を見るとこの6項目すべてが校務主任（愛知県独自の教員の役割。各校に校務主任と校務主任が置かれている）とその他教員が担当している項目だ。「チーム学校」「教員の多忙化解消」を言うとき、副校長・教頭の業務の多さがよく話題になるが、名古屋市の場合、「専門性」の名のもとに一般教員の多忙化解消に目を向けている。言い方を変えれば、むかし日教組がよく言っていた「雑務排除」であり、私たち学校事務職員が押し返してきたものでもある。

■労働条件が確定しない中で業務だけが増えていく  
名古屋市は「現行の主査、事

務長、総括事務長は係長職ではない」ということから5級格付けは行わない模様だ。もともと、移管後の給与は現在の給与月額に地域手当分の補正をかけて直近下位の金額にするということだから、一応の金額保障はされる様。しかし「職務の専門性」に対して給与の裏付けは不明だ。

17年4月1日の移管の前も後雇用主は同じ名古屋市教委。給料もほとんど変わらないのの仕事だけが増やされる。摩訶不思議だ。公務員賃金の「職務給の原則」という建前から言えば矛盾しているのではないだろうか。仕事量を増やすのなら、それに応じた給与を雇用者は支払うべきだし、そもそも学校に一人か二人の事務職員に一方的な仕事の押し付けは断固NOだ！

仕事の見直しは、神奈川の三市でも隙あらば出てくる話。横浜の「職務標準見直し」もいまだ不透明だ。移管をきつかけに、これまで積み上げてきた賃金水準や仕事のありようが一変する等理不尽極まりない。便乗型の労働強化を断固跳ね返そう！

# ヘイトスピーチ根絶を！

在日コリアンが多く生活している川崎区桜本地区を狙ったヘイトデモ第3弾が6月5日に実行されようとした。

川崎市は国のヘイトスピーチ解消法成立の後押しもあり、このデモの公園使用を不許可とした。また横浜地裁も同地区でのヘイトデモを禁止する仮処分を決定した。それでもヘイトデモ主催者は場所を中原区に変え、これを実行しようとした。当日は差別に反対する圧倒的多数の市民が、デモの出發を止め、中止に追い込んだ。私たち組合も参加している「ヘイトスピーチを許さないかわさき市民ネットワーク」が取り組んできた国や市への働きかけ、署名活動、カウンター集会などの運動が実を結んだ結果だといえる。だがこれでは足りない。これからもあらゆる差別に反対する運動を続けていきたい。

※ヘイトスピーチとは、人種・民族等に対する差別的憎悪表現